

平福白穂 ひらふく しほ 日本畫家、歌人。明治十年十一月二十八日秋田縣生れ、昭和八年十月二十日歿（八七七一九三）。本名貞藏。筆名白穂生、穂生。日本畫家平福穂庵の四男。明治十七年川端玉齋公入門、二十二年東京美術學校日本畫科専科卒。二十二年結城素明等と无聲會を、大正五年素明、鍋木清万等と金鈴社を組織。昭和五年帝國美術院會員、七年東京美術校教授。一方歌誌『タララギ』同人として歌作にも従事。著書『白選現代諸家スケッチブック・第一集』（合著・阿蘭陀書房編、大正六年八月八日阿蘭陀書房）、歌集『寒竹』（昭和二年十一月十五日白岩今書院『タララギ叢書』。再刊・二十年十月、平白岩波書店）、『日本洋畫の曙光』（昭和五年、月十五日岩波書店）、『平福白穂畫集』（平福一郎編、昭和九年十一月五日岩波書店）、『竹窓小話』（昭和十年十一月十五日古今書院『タララギ叢書』）等。